夕刊
新京日日新聞
發行所 新京日日新聞社

五色旗―大連税關に飜つてこゝに一年
全滿税關網整備全く成る

滿洲國建國頭初の一大懸案であつた全滿海關接收のトップをきつて大連海關の接收を斷行、滿洲國大連關税徴集處を開設、五色旗大連税關屋上に飜つてよりこゝに

＝一年＝ 昨年九月十五日日本の滿洲國承認さともに大連税關の法的地位を確立、同月二十五日對支關税改正を實現、本年一月三十日大黑河税關分館の接收を最後さして全滿税關の接收を完了し、幾多難關を突破、鋭意内部組織の擴充に努め、國際的中立機關さして實質上支那政府の埒外にあつた所謂海關も滿洲國政府機關の一機構さして中央集權的機構に入り、名實共に滿洲國税關の獨立は成つた、今や全滿に於ける税關網は整備せられ現在の税關數は本館八、分館十八、分卡三十に上り、近く公布される税關官制の施行により税關組織も完全に形態を整へるこさゝなつたが、財政部並びに税關首腦部の努力により接收初年度に於て四千八百萬圓を超へる關税收入を擧げ滿洲國財政の

＝基礎＝ を確立せる功績は特筆大書さるべきものであらう

接收當時をしのべば感慨實に無量
源田財政部税務司長談

全滿海關接收に第一指を染めてより滿一年、財政部源田税務司長は左の如く語つた

大連海關を接收してから既に一年を經過した、今その當時をしのべば

＝種々＝ 感慨無量である當時は滿洲國財政の確定引いては滿洲國確立のため緊張してゐたから左程さも考へなかつたが今から思へば實に大事業であつた、頭初は大連海關を含む全滿海關の接收か計畫通り進捗するさは考へられなかつたが天祐か接收前後に於ける支那側の採つた策が誤れる上、全滿海關員の反感を買ひ、海關員四百五十名中の百五十名足らずの者が正義の國滿洲國のため憤然團結して起ち各税關共一日も事務停滯を來さず秩序整然さして活動したので此の樣に豫定通り敏速完全なる接收が出來たもので、關員諸君の努力に對しては今に於ても感謝の言葉を持たない、全海關の接收以後は昨年九月十五日日本の滿洲國承認さ共に全然支那さの關係を斷ち、滿洲國の建設事業進むに伸ひ又圓價暴落等も一助さなり税關收入は歳入の半を占め着々さして税關事務の進捗を見てゐるが、これも一に接收當時前後より現在に至るまでの全關員の努力の賜さして

＝感謝＝ に堪へない次第である今後の問題さしては小包課税の取締問題、各種鑑定技術の養成、貿易の促進施設、各種關税法規の制度の實施、保税整備並に現行關税率の改正等であるが、關税改正は滿洲國經濟狀態に則して改正を行ふ豫定で、改正率の實施は七月中旬さなるであらう

貿易の進展に備へ新税關を増設

昨年五月二十四日福本大連海關長の罷免を導火線さして二十五日大連關税徴集處の

＝開設＝ により、全滿海關接收の端緒を拓き、本年一月九日ボグラニチナヤ同月三十日大黑河分館の接收を完了した、一方昨秋九月二十五日山海關税關分館を新設して對支陸境關税線第一歩を踏み出し本春解氷期さ共に三角地帶密輸の足溜りたりし莊河、大孤山、青堆子分館を、また滿鮮國境の主要地臨江、輯安、外岔溝及甸河口の四分卡を新設、奉天税關を營口分館さして航空税關を開設、更に渤海沿岸西海口に分館を新設、熱河攻略の完成さゝもに本月五日承德税關を置き、長城線に沿ふ税關網を張り、敦圖線假營業開始に伸ひ琿春税關圖們分館を擴張、近く本館の移轉を斷行し、全滿國境の税關網は完成の域に達した、また海關接收當時五百名の海關職員中中國人の大部分は南方に退去した爲約三分一に減じ、甚しい手不足に陷り加ふるに對支關税改正により有税品の激增を來し、貿易の進展さ新設税關の増設により事務繁激を加へたため應急的に

＝現地＝ に於て新規採用をなし、その數五百名に達したが、なほ大連税關の如きは税關吏の負擔は内地の横濱、神戸税關に比し、十數倍に達してゐる税關官制公布によつて完備さるゝ全滿税關網を圖示すれば左の如し

△滿洲國税關、分關、分卡豫定

大連税關 ― 旅順分關、普蘭店同、莊河同、青堆子分卡、大孤山同、金州分卡、貔子窩同、城子疃同
濱江税關 ― 綏芬河分關、同江同、富錦分卡、大黑河同、瑷琿同、滿洲里同
安東税關 ― 三道浪頭分卡、大東溝同、長甸河口同、外岔溝同、輯安同、臨江同
營口税關 ― 奉天分關、復州同
山海關税關（現在營口分館）― 西海口分關、界嶺口同、冷口同
圖們税關（豫定）現在は琿春税關分館 ― 琿春分卡、凉水泉子分卡、密江同、[illegible]同
龍井村税關（外に見張所十ヶ所）― 石建坪分卡、開山屯分關、南坪同（外に見張所十四ヶ所）
承德税關 ― 古北口分關、喜峰口同（外に十數ヶ所の分關、分卡計畫中）

ヒットラー政府の國内大ナチス化計畫

【ベルリン廿三日發國通】現ドイツ政界及び勞働界のナチス化さ共に青年ドイツのナチス化を企圖するヒットラー政府は廿三日突如ドイツ青年團々長フオンシラツハの命令を以てドイツのボーイスカウト及び之に類似の諸團体を一齊に解散し、其財産を沒收した之等の團体は近く國粹青年團に統一改編される筈である

目覺しき滿洲産業の發展（四）
大連市長 小川順之助

理由の三は滿洲國の産業助長政策であります、滿洲國は去三月滿洲經濟建設十個年計畫を發表致しました、最近の報道に依れば日滿兩國は資本並勢力さも協力し産業經營に當る原則を定め之が大綱を決定し之を基礎さして林業、牧畜鑛業、産金、農業等に關し研究されつつありますから軈て農地開拓會社、産業會社及林業並に之に對する加工會社及之等會社に投資する金融會社が速かに設立さるゝこさであります、尚滿洲國政府は千百萬圓の春耕資金を北滿各地に貸付産業開發を計つて居る斯くの如く各方面より滿洲産業開發に努力したならば如何に急激なる産業の發展を見るかを想像し得るのであります以上の三つの理由により滿洲産業は今後革新的一大發展を爲すこささ思ひますが建國以來僅か一年でありますが滿洲國の對外貿易は倍加急增し安東及大連港滿洲國の税關收入は昨年に比し倍額以上の好成績を示しました爲吾々が最も心配して居つた滿洲國の財政は全く樂觀せらるゝ樣になりました、建國當初吾人の最も憂へて居つたのは一は治安の維持一は滿洲國の財政の二點でありましたが一は皇軍の勇敢なる中央突破の新戰術によりて豫想以上に急速なる恢復を觀、二は關税收入の激增により滿洲國の財政が極めて樂觀せらるゝ現狀に鑑み滿洲産業の目覺しき發展振を想像するのであります

滿洲事變は滿洲産業發展の革新期であることを述べましたが同時に今日は日本商品の滿洲進出の革新期であるさ存じます、從來滿洲に於ける海外輸出品は原料及食料品に於て九十七%、輸入品は製造品に於て五十五%を占めて居ることによつて滿洲の世界經濟に於ける地位の一班を推知し得るのであります從來南滿各地に於ては日本の品が賣れて居つたのでありますが哈爾賓を中心させる北滿各地方に於ては獨逸品、亞米利加品が主さして勢力を占めて居りました歐が爲替變動の關係もあり亦日本の資本の進出等により當然日本商品が之等外國品に代り日本商品は全滿に亘りて其販路を擴張すべき運命を持つて居るのであります然るに此の大市場たる滿洲に對し從來日本商品は滿洲には安い品でなければ賣れぬ樣な誤解があつて所謂滿洲向粗製品が多く輸出されたのでありますが今後は相當高價なる商品が多量に賣れることは必然であるから此對滿貿易の革新期に當りては當業者は根本的に考へ直す必要があります滿洲は未開野蠻であるものさ一般に考へられて居るかも知れませんが文明の風の吹き廻しは奇妙で彼の哈爾賓地方には女の斷髮が逸早く流行し非常な勢を以て其の地方を風靡したことは關東州其の他の大都市よりも遙かに尖端を行つて居る、現に哈爾賓其の他に於ては從來亞米利加品、獨逸品、露西亞品等相當高價な品が賣れて居つた事實に鑑みても地下足袋其の他安い物のみが滿洲で賣れるさ思ふ樣では此の滿洲産業發展の際日本商品滿洲進出等は思ひもよらぬ事であります、又前述の如く滿洲産業は著しく進展し原料品が世界市場に賣捌かるゝに於てはそこに當然滿洲住民の富の増加さなり消費力の増大さなり文化の發展を見る譯であるから從來さ全く異りたる高價品が滿洲に進出し得るのであります

今度大連市に於て博覽會を開催するので出品勸誘に出掛けた際には日本に於ける各種の商品を全部陳列して滿洲に販路擴張を計らるゝ樣御勸めした次第であります、尚滿洲事變の爲日本は國際聯盟より脱退して孤立の地位に立つた當然の結果さして昨年以來南支は勿論印度歐洲向の日本商品は殆んご輸出が杜絶しました以上今後日本の商品は滿蒙の大市場に向つて極力其の販路を擴張するこさが急務さなつて來たのであります

珠玉を碎く（三十七）
吉井勇 作　（高根秀浩畫）　禁無斷上映上演

獣會（八）

英一と露子とは、朝起きて遅い食事を部屋へ取寄せて濟ますと、午頃まで人目を怖れるやうに部屋の中にばかり閉ぢこもつてゐた。話はそれからそれへ盡きなかつたが、そのうち露子は不圖昨夜の廊の外のもの音を思ひ出したやうに話しかけた。

『昨夜は何うしたんでせう。ほんとに覗いたんでせうか』

『えゝ、何ですつて……』

英一は突然そんなことをいひ出されたので、不圖聞き返すやうにさういつてから、

『あゝ、あの何か落したやうな音がしたことですか。さうですねえ。ひよつとしたら誰か鍵の穴からでも覗いてゐたのかも知れませんよ』

『まあ、厭だ。しかし覗いたとすると誰でせうね』

露子はさすがに顔を赤くしながら聞いた。

『さあ、誰でせうね。ひよつとすると京子さんの方の廻しものかも知れませんぜ』

『まあ、そんな事するでせうか』

『そりやあ、その位のことはしないとは限りませんよ。それだから、これからは餘つ程用心しないと危險ですよ』

『さうねえ。あの人のことだから、どんなことをするか知れないわ。何しろ香山さんをあゝして自分の味方にしてしまふまでは、かなりいろ〳〵なことをしたつて話ですもの……』

『さうでせうねえ。兎に角重役の一人をお抱作者にしてゐるんだからえらいものですよ』

『えゝ、それがもう香山さんは京子さんに會ふと、隨分だらしがないんですよ。ほんとに傍にゐて見てゐられないほど京子さんの御機嫌を取つてゐるんですもの……。さういふところを見てゐるもんだから、あたしはもう香山さんの書いた喜劇になんぞ出るのが馬鹿々々しくなつて來るんですの』

英一は微笑しながら點頭いて、

『いや、そりやあ京子さんはえらいですよ。しかし僕はきつとあなたを京子さんに勝たして見せますよ』

露子はその言葉を聞くと、うれしさうに男の顔を見上げながら、

『ほんとにどうぞ勝たして頂戴……。あたしはこれからあなた一人を力にして戰ふつもりなんですから……』

といつたが、その目には輝くやうな情火の閃きが映つてゐた。

二人はそんな話をして、部屋の中に閉ぢ籠つたきりで、ひる近くまでの時を過ごしたが、そのうち露子の劇場へ出懸けなければならない時間が來た。露子はちよつと腕にまいた時計を見ると、さもつまらなさうに嘆息をするやうな調子で、

『あゝ、あゝ、厭になつちまふねえ。あたしもう行かなければならないのよ』

『もうそんな時間ですか』

英一はびつくりしたやうな顔付で訊いた。

『えゝ、だつて一時から始まるんですもの……。晝夜二部制なんて厭だわねえ。それにあたしは序幕からつかまつてゐるんですもの…』

『さうですか。それぢやあ僕も一緒に出られますよ』

『えゝ、だけど二人一緒には出られないから、あたし一足先に歸るわ』

『あゝ、それぢやあさうなさい』

が露子はかういつても、中々歸らうとしなかつた。別れ際の接吻が二人をまた引き留めてしまつた。やつと露子がその部屋を出たのはそれから三十分も過ぎてからだつた。

と露子が出て行つて、まだやつと玄關を出たか出ないと思はれる時に、誰だかその部屋の入口の扉をたゝくものがあつた。

南支の排日擡頭に廣東福建に軍艦配備
米國から飛行機、武器を購入 形勢頗る侮り難し

（東京廿四日發國通）海軍省の南支情報では廣東中心の排日運動は頓に活況を呈し十九路軍と陳濟棠はアメリカから機關銃、飛行機等武器を購入し、形勢重大故海軍では萬一の場合を憂慮して軍艦五十鈴を福建省に嵯峨を廣東に滯留せしめ警備せしむる一方驅逐艦三隻を馬公に待機させてゐる

張家口の人心又復動搖の兆
中央との妥協は困難

（北平廿四日發國通）張家口を視察して歸平した商人某の話によれば、一時靜かになつて居た張家口の町は最近又復騷がしくなり連日のやうに市民大會が開かれて居るが二十二日の大會の如きは吉鴻昌以下在張家口軍政要人も列席したが、貼り出された標語には「打倒蔣介石」「反對一國一黨の國民黨」「勞工革命萬歲」と云ふ赤いものが多く之によつてもロシアとの關係は相當深いことを裏書して居ると、此點でも中央との妥協は世間に傳へられて居る程易々とは實現すまいと

灤東地區は民團で治安維持に
―黃郛より發令―

（天津廿四日發國通）北平政整會委員長黃郛は最近河北省主席于學忠と協議の結果諸種の事情より暫時灤東地區における特殊警察編成を中止、事態を靜觀するに決した模樣で日本軍撤退後は取敢えず各地民團を以て治安維持に當らしめる樣命令したと傳へられてゐる

馮玉祥遂に察東に兵を入れる

（北平廿四日發國通）張家口來電によれば、馮玉祥は抗日同盟軍の南路前敵總司令に吉鴻昌を任命し沽源、多倫を奪回せしめることとなつて吉鴻昌軍の一部は既に進發したとこれによつて見ても馮玉祥が抗日軍取消しの意志なきことは明白で結局土壇場に至つて何應欽は馮玉祥から一本背負ひ投げを喰はされた形である

新任實業部總務司長 高橋康順氏着任

新任滿洲國實業部總務司長高橋康順氏は廿四日午後七時五十分新京着「ハト」で着任した氏は語る

滿洲には十年程前に來たばかりで何等智識は持合せないので、仕事に關する抱負等は別段無い、精々各方面の意見を聽いて方針を樹てたいと考へて居る、實業部として今後なすべき事は多々あるだらうが先づ產業的調査を行ひ通貨第一主義で計畫を遂行しなければならぬ、近く權度法及び商標法が施行せられると聞いて居るが自分は商工省に居た關係で相談に預つたので幾分承知して居る、商標法の制定は最も急を要するものであり滿洲國の實狀に適した先使用主義により何れの國たるを問はず、機會均等を以て臨むことになつてゐるが、滿洲國不承認諸國商品も必然的に登記することとなり、商品を通じて事實上の滿洲國承認が行はれる譯だ

在滿朝鮮人の現狀（四）
關東憲兵司令部發表

五、鮮人の田庄臺安全農村設立

朝鮮總督府は鮮人救濟事業として水田を開拓すべく土地選定の爲昭和八年二月營口縣北部一帶に亘り東亞勸業株式會社及朝鮮總督府より派遣員出張實地踏査を遂げたるが警備上より適任地と認め難く其後之を變更し、營口縣田庄臺を最適仕地と認め荒地二千四百町步を購入機械揚水により二千町步の水田を開拓し、約千戶の鮮農を收容し、明九年度より農耕に從事せしむる豫定にして、本年度は四月中に農村の設定を完了し、地區內土工に當らしむべく三月十五日營口及田庄臺に事務所を設け三月廿三日着手し、四月十一日に終了、四月十五日より五月十五日迄農地開墾、五月一日より七月卅一日迄小水路工事七月一日より九月卅日迄揚水場及基礎工事、幹線水路、八月一日より十月卅一日迄工作物及十月一日より同卅一日迄機械据付を計畫し軍部及大使館、滿洲國側と提携し、又之が警備の爲營口領事館より巡查部長以下十六名出張し順調に進捗中なり

六、吉長線下九臺農場計畫

吉林省吉長線下九臺の南方六里の地點に四年前鮮人十四戶移住水田を開墾せしも事變以來匪賊の橫行甚だしく全部新京に避難せり、此地は豫て新京在住鮮人數名にて昭和七年二月より集團農場建設を計畫し、隣接未墾地各地主に土地借入交涉をなしありしが、昭和八年に至り四百天地借用及其他一千天地の口頭承諾を得、以上未開墾地約二千天地の中本年度約五百天地を開墾し、爾後每年五百天地を開墾することとし已に吉林總領事館の了解の下に本年度先づ吉林避難鮮農百戶、新京鮮農六十戶を收容すべく目下家屋工事中なり、本計畫に基く經費は資金二萬圓にして之を組合組織にし四百口、一口五十圓と定め先づ第一回出資拂込金五千圓を以て支辨し不足の場合は奉天勸業公司より低利資金の貸付を受くべく計畫中なり

（三）官吏等の奉職狀況

滿洲國政府に奉職せる鮮人官吏雇傭人は約九十餘名（七年十二月末現在）にして官吏に於ては內地人に比し極めて少なり且地位俸給等も亦低く之が改善方は鮮人一般の輿論なり

（四）自治啓蒙の狀況

在滿鮮人は比較的雷同性に富み一意專念の氣慨乏しく永續性なき悲慘の生活環境は益々彼等の熱し易く且冷め易き性格を助成し彼等の通有性たる貯蓄心の缺如は依然として之を持續しありしが、滿洲事變後之等の缺點に稍々自覺し人格の向上、公共團体の設立、教育の普及及自立自營の必要に目醒め、或は民會を新設し或は金融機關、修養團体を組織する等大いにその啓蒙を圖りつつあるも今尙具體化せるもの少し

商工省でも日印會議の對策協議
日印双方輸出入品數量限定

（東京廿四日發國通）商工省は日印通商問題に關し民間側を代表する紡績聯合會の意向を聞いた上で廿六日より約一週間に亘り連日商議を開き、日印シムラ會商の細目を決定する段取だが、商工省が考慮をしつゝ民間側で主張すべき點の印度產業保護法の適用廢止と孤立關稅の引下げを前提とし印棉織等の印度より日本への輸出品に對し數量を限定すると共に、日本より印度への輸出品に對する數量の限定を要求させんとするもので、其具體的方法としては商工省が極秘裡作成せる輸出統制法案によつて決定すべきだと言ふにあり、之が最後の切札と謂はれてゐる

關稅休日案
樞府審査委員會の質疑應答
政府側の決意固し

（東京廿四日發國通）關稅休日案に關する樞府審査委員會は休日案が急速に承認の通告を要するものであり、且政府の之に對する確固たる根本方針に信頼し、既報の如く原案の承認に決し廿八日の定例本會議で可決を見る事になつたが、本日の審査委員會に於ける質疑應答は左の通りである

問 本案を承認する事に依つて何んな利益があるか

答 承認して參加すれば米國其他の參加國が關稅の問題に關し、日本に不利益な事をやつた場合に抗議を申込む事が出來る

問 留保條件は殆ど空文に等しいものだから大体に於て承認するも之が實行に就いて、政府は如何なる決意を有するか、又如何なる方法を採らんとするか

答 政府は此の留保條項を實行すべき事情が發生すれば直ちに實行するものであつてそれが議會開會中ならば法律案を提出して、協贊を經るけれども召集の時間無き程緊急の必要ある場合は適宜の措置を誤らぬ爲、緊急勅令を以て報復關稅を制定斷乎たる措置に出る決意を有す

問 五月十二日の會議に於て帝國として當然留保して置くべきに拘らずその手續を取らなかつたのは失態ではないか

答 國內機關の承認を得ればと言ふ留保をして置くのだから法律的に見ては決して手落は無い

問 印度の如きは此の案が八ケ國の間で出來た後に關稅の引上げを爲し、更に留保を附し參加してゐるではないか

答 帝國として此の印度の態度に對し不滿を持つてゐる爲日印兩國の間で交涉の上、若し必要があれば斷乎たる措置に出る考へだ

北鐵交涉の蘇聯二代表東京入り

（東京廿四日發國通）北鐵交涉の蘇聯代表カスロヴスキー、クズネツオフ兩氏は東京驛着入京した

實吉、濱尾兩子爵
貴院議員當選

（東京廿四日發國通）子爵實吉純郎子爵濱尾四郎兩氏は貴族院議員に當選した

北鐵線上クロス工事愈々竣成

（ハルビン廿四日發國通）スタールハルビン東方に於る拉濱線の北鐵線上のクロス工事は去る五月十五日起工されてより茲に四十日晝夜兼行で工事を進めてゐたが、廿四日を以て十八米の架橋を終り廿五日拂曉工事竣成することになつた

松室大佐の釋放一兩日遲れる模樣
通信不便で連絡不完全のため
馬賊頭目鳴子兒も完全に歸順

既報、熱河特務機關長松室大佐は廿四日釋放せられ同時に二百余名の賊團を歸順せしめることゝなつてゐたが同大佐の目下拉致されおる大閣鎭は通信、交通不便のため連絡上に手落ちを生じ廿四日の引渡しは遂に不能に陷つた、しかし右馬賊團頭目鳴子兒も既に完全に歸順の意を表し居り釋放はたゞ時間の問題である、なほ松室大佐は不時着の際も微傷だも負はず拉致されて後も頗る優遇され居り頗る健康の由である

國立天文臺
近く建設工事に着手

滿洲國文教部では既報の如く南嶺附近に國立天文臺を設置する事となり、之が準備を進めつつあつたが最近之が設置場所及び經費その他一切の決定を見たので愈々近く工事に着手する事になつた 設置場所は南嶺執政府用地南地域五萬坪で、經費は七十萬圓である

長江增水甚しく
漢口邦人婦女子避難準備

（漢口廿四日發國通）長江の增水は遂に四十七尺に達し日本租界と特別一區の江岸は二寸の浸水を見た、本年の水は增水が非常に早く昨年の本月より八尺、一昨年より十二尺高いので此分では大水害は到底免かれないと觀たる邦人婦女子は既に避難準備を行つて居る

九民坊附近の住民戰々兢々

（南京廿四日發國通）長江の增水は今朝に至り遂に下關の九甲坊に浸水、民家五百戶は水に沒し、尙ほ增水の模樣あり、住民は大恐慌を來して居る

吳佩孚胃癌で次第に衰弱す

（北平廿四日發國通）北平に蟄居して居る吳佩孚は健康勝れず、ドイツ醫師の診斷する所によれば胃癌と判明、目下療養中であるが食慾進まず一日粥を二杯辛うじて攝つて居る有樣で、漸次衰弱して居るといふ

一等兵の交通規則違反
軍隊と警察の對立となる

（大阪廿四日發國通）大阪天神橋交叉點で第八聯隊中村一等兵は停止信號中道路を橫斷せんとし、戶田巡査と口論より喧嘩となつた事件は軍隊、警察間の調査の結果一致せず、狀態を生じたが、廿二日双方より聲明を發し師團參謀長は皇軍の威信問題化さへ念慮し警察側も警官も帝國の警官だと主張し、相讓らず成行重視されてゐる

その日く

□海關接收こゝに一年、何等の障害なく基礎なる、一年前を顧みて感慨無量

□吳佩孚將軍、胃癌で衰弱を報ず名將の末路や哀れ

□新京城內に地方自治委員會生る、滿洲國人に自治精神を植え込むことが先づ肝要

□白球青空にこだまして新京軍意氣あがる、更に健棒奮鬪を望む

人事往來

▲安達中佐（關東軍線區司令官）二十四日午後四時三十分奉天へ

▲落合中佐（關東軍自動車隊長）同上

▲池內廣氏（東京帝大教授）同上

▲高崎儀平氏（元朝鮮銀行理事）同上

▲藤原保明氏（滿洲國郵務司長）二十四日午後七時五十分歸京

▲丁交通部總長同上

▲山口衞生課長（關東廳）二十四日午後十時南行

▲上砂少佐（憲兵隊司令部）同上

團体

▲栃木縣々會議員團十六名二十四日午後三時二十五分來京

▲金澤產業視察團十名同上

▲金澤產業視察團十名二十五日正午吉林

五。一五事件常人被告準備公判

（東京廿四日發國通）五、一五事件常人被告廿名の準備公判は廿四日午前九時半東京地方裁判所に開廷、被告一同元氣で出廷何れも犯罪事實を認め陪審裁判を辭退し、第一回公判は九月廿六日開廷引續き火、木、土曜日行ふことに決定し、十時四十分閉廷した

內蒙古宣撫隊に參加の高井中尉縱橫談

（ハルビン廿四日發國通）匪賊なき樂土開けゆく西部滿洲國ホロンバイル、三河一帶から內蒙古を十數臺の自動車で宣撫工作を行ひ豫期以上の成果を收めた高波〇團長の內蒙古宣撫隊に參加した當時特務機關部員高井中尉は數日前歸哈した、內蒙縱橫談を試みた、左に掲ぐるは同中尉の談話大要である

×

宣撫隊一行は六月九日早朝六時、自動車、トラック十四臺に分乘しハイラル出發行けども果なき曠野を南へと進路をとつて自動車による沙漠橫斷旅行の途についた

ハイラルを離れて三十分もドライブすると人家といふ人家は總て旅行者の視野から消え去つた、たゞ見るものは廣漠たる草原に群なす牛馬の放牧であつた、更に南へ進むと次第に周圍は砂原と化し、草の綠もだんだん姿を見せなくなつて行つた、かくて一望千里の曠野をひた進んで行くこと十四時間、行程實に百六十キロ、丸一日を費して夕暮八時頃哈拉哈河畔のハンダガヤに着いた、此處はハンダガヤといふ立派な地名が有るに拘らず部落と云ふ人家さへない、所謂蒙古包が群集して「イルタ」を形成してゐるに過ぎない、點々と二百箇程の蒙古包が宵闇につゝまれてゐた、ハンダガヤに一行が着くや「日本軍來る」とばかりに村長始め村人が出迎へて賓客扱ひといふ大變な騷ぎだ、我々は携行して行つた砂糖、仁丹、眼藥といつた樣な慰問品を配つてやつた處、彼等はすつかり欣んで、それぢや今夜は皆樣のために饗宴を催さうと提議して例の山羊肉料理、ヂンギスカン鍋やチャンチャン振舞ひ、青年男女は圓陣を作つて素朴な踊りを見せてくれた

×

しかし踊りにつれて唱ふ唄が丁度御詠歌の節廻しに酷似して居たのは變なものだつた 此處に一泊して蒙古人なるものをよく見る機會を得たが、彼等の大半は眼病と梅毒に冒されて居る、このトラホームとスピロヘータ蔓延に因つて來つた由來の史的考察であるが、これは取りも直さず大蒙古族抑壓を企圖した漢民族一流の百年の計の顯現であつたと云ふから我々もこれに驚嘆の他はなかつた、即ち、モンゴール華かなりし頃勝和して歐亞大陸を席捲するや、その暴風の如き威壓に脅威を感じた漢民族は正面攻擊利あらずと見て、企てたのが種族絕滅と云ふ苦肉の策であつた かくて爛熟の漢文化並びに邪教ラマ教は計略たがはず蒙古全土に浸潤して行つた、ラマ教では長男以外の男子はラマ僧侶に仕立てられた

×

而も僧侶の妻帶は禁斷されるといふ教是が仕組まれて漢人の標榜したモンゴール種族絕滅の陰謀は次第に成功を收めた邪道に陷ちたラマ僧は漢人から移入した病毒スピロヘータの媒介に努める保菌者とはなつたのであつた今やモンゴールは全人口僅か五百萬に滿たざるのみならず殘された蒙氏は敗退線上を彷徨しつゝある現狀だ之れを救ふ唯一の途こそは五種協和を標榜して忽然出現した王道政治だと其時しみじみ痛感した

×

十日正午我々はハンダガヤを捨てゝ哈拉哈河を徒ち渡り一路を東にとつて前進すること六八キロ、黃昏時に至つて漸く內蒙古隨一のオアシスと呼ばれるハロンアルシャンに到着した、此處は珠の如き泉がチョロチョロ湧き出で今まで幻想さへ許されなかつた青葉がざわめいてゐるといつた風光の谷間の温泉地だハロンアルシャンとても常住する人は殆ど無く、僅かに「イルタ」が數ケ所に點在してゐるのみであつた、しかし古來蒙古人が禮讚する靈泉だけあつて盛夏になるとモンゴールは言はずもがな、遠くハルビンからロシア人迄避暑に出掛ける所で、温泉は攝氏一度から四十一度まで冷温樣々な泉が湧き出るから、此處で湯治すれば萬病忽ち腎癒すると傳へられてゐる、我々も浴び、見たが冷泉の中には「ハヤ」が泳いでゐたりして、すつかり旅情を慰められた

×

十一日愈々一行は遙か西北方ソロン（索倫）を目指して大興安嶺越えを敢行することになつた、尤も興安嶺は高い山脈でないから自動車を走らすことはわけなかつた、午下り一行が頂上に近づくや小高い所に異樣な棒杭を見出して誰もが一齊に眼をみはつた何だらうか？「標識だ」……誰が叫んだ

先を爭つて近づいた一行ははたと、たたいたこれこそは茂木部隊、榮譽を物語る世にも名高い耐寒興安嶺突破のランドマークだ、標識には墨痕鮮かに

「昭和七年十二月九日 索倫支隊興安嶺突破」

の文字が浮き出てゐた

×

あゝ過ぐる師走、ホロンバイル攻略を目指して立てる茂木部隊が大興安嶺越えの壯擧を敢行し、零下五〇度の耐寒行軍に功を收めてナポレオンのアルプス越えにも比し得べしと絕讚された帝國陸軍得意の作戰行動であつたのはものゝ偉勳はかくて夏草蒙ふ山嶺高くそびへ武勇の數々は沈默の標識が何者よりも雄辯に物語つてゐる、大興安嶺のいたゞきに立つた時我我は遠く西方にホロンバイルを望み口では表現し難い征服感に打たれた途中「ドロ」が所々群居してゐたが、彼等は自動車のサイレンに驚いて逃げまどつた退屈し切つてゐた一行はこの突然の愛嬌者の出現を欣ぶこと限りなく、銃でボンボン擊ちまくつたが、仲々命中しなかつた、小銃と云へば、我々一行は萬一の場合にと出發に際し、夫々物々しい武裝をして旅行に出たが、餘りにも平穩な內蒙古には匪賊一人なく、自分らは我身を顧みて苦笑した程であつた、

特別市内に
初めて生れる地方自治委員會
日本人も委員に加へて來る十月に開く

新京特別市では近く官制による地方自治委員會の設置に着手するはずだが、今のところ大体九日一杯頃までに諸種の準備一切を整へて議長以下各委員の顔觸れも決定し、十月早々正式に開設の見込みである、同委員會は

『委員』十五名を以て組織され附屬地に於ける地方委員會の如く議政の諸問機關ではなく純然たる議決機關であり日本内地の市會同様の權限を有するもので、唯だ委員は選擧によらず政府の任命によるのみの相違である、當局ではこれが委員の人選には特に德望ある

議を備へ全市民が首肯し得るに足る人物を推薦すべく、何分最初の委員會ではあり、特に愼重の上にも愼重の態度で臨むことになつてゐるが、同委員會は市稅負擔の關係から滿洲國人に限らず日本人も

『參加』させる譯で日本人をそのうち幾名割當るかについては特別市内に於ける日本人の人口と同市内全人口との割合によつて決定するかそれとも他に適當な方法を見出すか今のところ判然せないが、何にしろ市民の代表機關としての同委員會に堂々參加することは個人としても大きな名譽であるのみならず、自己の經綸が議決機關としての同委員會を通じて行はれることにもなるので、いよいよ委員人選に際しては滿人側も日人側も自薦他薦の運動で火花を咲らすことであらうと今から多大の期待を以て見られてゐる

白衣の勇士 内地へ
轉療のため送還される

二十六日午後零時四十分發列車で新京衛戍病院收容加療中の傷病兵十一名は内地

滿洲國美術同人院
來月二日發起人會開會

美術を通じて日滿親善を圖ると共に滿洲國文化を廣く世界に紹介する趣旨の下に近く成立される「滿洲國美術同人院」は來る七月二日午後五時よりヤマトホテルに於て發起人同志會を催すことゝなつた發起人は左の通り

七村哲彌(文敎部)　古關亮(同)　松島鑑(實業部)　藤山一雄(監察院)　曾子仁(民政部)　横山勇(關東軍)　森岡史朗(國都建設局)

千葉上等兵遺骨 守備隊へ

獨立守備隊千葉上等兵の遺骨は二十五日午後三時三十五分着列車で來着直に新京守備隊内に安置された

水不安は解消
但し是は城内のこと
今後は專ら市政公署で給水

新京城内に於ける給水は從來個人の手で扱はれ現在西四馬路の給水所から一般へは賣り水として一杯幾らと運ばれてゐるのだが、市政公署では水道

『計畫』の一部としてこれを買收することに決定し、このほど隣行政處長と所有者との間に折衝中のところ、最近漸く話纏まり總額三萬圓を以て一切の權利を讓受けることになつた、同給水所は目下一日四五百噸の湧水量であるが、なほ設備を加ふれば一日一千噸が得られる見込である、同時に當ら發見された市政公署裏の新井戸一日二百噸もいよいよ着手されることゝなりこれで從來の南關一日八百噸を加へて

『都合』二千噸の給水が完全に得られる事となつた、これで特別市内では附屬地のやうな水不安が當分なくてすむわけだと當局者も一息ついてゐる

國都建設の歌
建設局で懸賞募集

國都建設局に於ては左記規定に依り國都建設の歌及び國都建設小唄を懸賞募集する事となつた

一、懸賞募集種目(二種)
イ、國都建設の歌
ロ、國都建設小唄
二、懸賞應募作品規定
イ、二種とも新興の氣魄に滿ち雄大にして明瞭なるものなること
ロ、歌調、文体及び文字の數は隨意とす、但し使用語は滿洲語、又は日本語に限る
三、締切期日は大同二年七月十五日とす
四、審査は別に定むる審査委員會之を行ふ
五、當選發表は大同二年七月二十日とす
六、應募者は住所姓名を明記し清書すること、不明瞭性所曖昧なるものは沒とす
七、應募作品は國都建設局宛提出又は郵送すること
八、作品は一切返却せず
九、當選歌及び當選小唄の版權は國都建設局の所有とす
十、賞金は一種に付
一等　國幣五十元(一人)
二等　國幣三十元(一人)
三等　國幣二十元(一人)

安東だより
コレラ? 目下檢鏡中

【安東發】安東は昨年コレラ患者續出の後を受けた本年故關係當局は早くから豫防に努めてゐるが折も折二十二日午後三時十分着列車にて奉天經由大津から來安した滿人許某女(二〇)は下車するや直ちに腹痛を覺えたので直ちに滿鐵醫院に馳せつけ診察を受けんとしたが數回にわたり吐瀉し打倒れ總べての症狀がコレラ患者と全く同様なので當局では嚴重なる手當方法を加へ一方探便して目下檢鏡中で時節柄注目されてゐる

メチールを含む 不良ウヰスキーを賣る

【安東發】過般來實施してゐた警察當局の市内一齊檢査による飲料檢査からメチールアルコールを多量に混入してメイドインスコツトランド等の有名醸造會社等のレッテルを勝手に貼付するの不德義を敢てしウヰスキーを販賣してゐる店が發見された、當局では現品を直ちに沒收廢棄處分にしたが店は市場通り某店(特に名を秘す)で當局では不正商人の摘發を一層嚴重にすると共に一般需要者の注意を望むと、尚ほメチールアルコールを飲用すると盲目になる恐るべき物である

新京の正義團
誓盃式けふ擧行さる
五百名が新たに入團

王道精神のい協力協和の鐵則に合致する正義の力によつて建全なる國民精神を

『作興』し國民生活の安定を得んが爲内地より進出して來た大滿洲正義團の約五百名の滿人新入團者の新京最初の結盟誓盃式は二十五日午後二時より新京北大街假本部に於ていと嚴肅に行はれた、この日大滿洲正義團の盟に入り、正義の大旆の下に參加せんとする新人團者は陸續として、碧空に正義團旗へんぽんと翻り萬旗に飾られた假本部の會場につめかけ、定刻前既に堂を賑す、會場の正面には正義の大神を祭り、右側の壁には丈余の白布に墨痕鮮に正義團の綱領を書き張らし

『會場』左右の來賓席には關東軍司令部滿洲國、憲兵隊、警察等の要人列席、やがて定刻正二時、小林常務理事司會の下に式に入り、雷恒成氏の開會の辭に次ぎ新京神社井上社司の手により祭典が行はれ終つて酒井主盟の訓示、新團員代表の答辭あり、昔の親分、子分の仁義を目の當りに見る樣な誓盃式に移り五百名の入團者は一名づゝイタリの黑シヤツ團を思はせる黑洋服の正義團裝に身を固めた酒井主盟の前に行き盃を取り交し新文唱頌、不動の

『姿勢』の下に右手を斜にエイ「新興我以正力」を唱へ、次で

西中將の來京變更

既報、二十五日午後六時五十五分着京豫定であつた西中將は同夜七時五十分の特急ハトで來京に變更された

釣魚解禁
さて今年の魚族は—?
愈よ七月一日から
西公園から便り

太公望連には一日千秋の思ひで待たれる西公園潭月池の釣魚もいよいよ來る七月一日を以て解禁されることゝなつた近ごろ「潭月池魚族缺乏」の聲高きに鑑み同園では本年は特に飼養魚族の繁殖に留意し皆さんの期待に添ふだけの手配もすつかり出來てゐるさうだ

釣魚證代は例年通り金四圓、今二十五日から七月中旬まで西公園事務所で發賣する、ボート遊びもさることながら岩頭に端坐して悠々糸を垂れる快もまた格別のものがあらう同好の士は至急揃つて申込まれたいと公園からの便りである

露國の南下政策は
今や昔日の夢
在滿赤露の各機關は閉鎖縮少

在奉天ロシヤ民營タス通信社滿洲支局は本國政府の命に依り去る十七日閉鎖し特派員スレパツクは

『北平』に引揚ぐることゝなり過般新京に來り滿洲國政府當局にその旨を傳へた、又ハルビンロシヤ總領事館も近く大縮少される事となつたが北滿鐵道賣却交渉を中心として在滿洲の赤露勢力は今や全面的に總退却を爲しつゝある昨年以來滿洲國の政治的、經濟的建設統制の進行するに從ひ在滿の赤露各機關にして縮少閉鎖撤退されたる主なるものは次の如くである(ハルビン八區埠頭)ハルビン埠頭區北滿鐵道引込線に沿ふ第八區埠頭を滿洲國は昨年七月之を接收した(エクスポート、フレツグ)

在ハルビン蘇聯の滿洲特產買付機關たるエクスポートフレツグは本年五月二十八日北滿鐵道東行貨物(ウラジオ向け)の激減南行貨物(大連向)の激增の數字を擧げ北滿鐵道は今や滿洲國鐵道の重壓下に在りと悲壯な

『報告』を本國政府に提出すると共に閉鎖された(稅關撤去)ロシヤは滿洲國領土内の滿洲里及ポグラニチナヤの兩ケ所に自國稅關を有するが本年四月十一日滿洲國よりの抗議により同二十五日之を自國領土内に撤去した

(北滿鐵道改造)北滿鐵道は三十數年間不可侵の傳統をかざして橫暴を逞うしてゐたが滿洲國政府は遂に意を決し去る三月廿八日蘇聯側に改造斷行の意を傳へ五月九日滿洲國人幹部の大淘汰を斷行、陣容を一新したが時を同じうしてモスクワ政府は日本に向つて北滿鐵道賣却を提議して來た斯くの如く北滿鐵道賣却提議を中心とする赤露勢力の退却は必然的にウラジオ港の

『死命』を制し延いては極東沿海州に於るロシヤ勢力の一大衰退を意味するものとして注目さるゝに至つた

州外野球リーグ戰の初日

服部の快打、捕手三好、球審係

新京對安東戰は二十四日午後零時より西公園グランドで開催され、接戰十七回の延長戰の結果三對二で新京快勝す寫眞は岡村參謀長の始球式と十一回の與責任バツター

奉天勝つ 對撫順戰

9A—6

新京對安東の後をうけた奉天對撫順野球戰は引續き午後五時より球審筒瀨、壘審川上、千葉、杉田、奉天先攻で開始されたが、結局九對六で撫順の一勝する所となつた、スコア並にメンバー左の如し

撫順　400210200　A
奉天　000000060　69A

撫順
昭　島原　寺　松原　湯下　村藤　松正
小梶　小成　出渡　井岡　佐成　西
(捕)(二)(左)(三)(一)(右)(遊)(投)(中)
六九一三七二五二
三一

打數點打打振死壘策
打得安犧三四殘失

奉天
川方
香大日孫　鳥村浪村島島藤上
小田　櫻田　小大　佐村
(左)(三)(中)(右)(捕)(投)(一)(二)(遊)
五六七〇二一二一
三

打數點打打振死壘策
打得安犧三四殘失

△三壘打　井下、小寺、三原
△二壘打　渡邊、成松
　　篠浪

大會雜觀

△撫順對奉天　今年は御互に一勝一敗で勝に決勝戰と言つた所だか最初から撫順のハチ切れる樣な元氣に引換へて奉天元氣なく第一回田村の肩定まらぬに乘じて單打長打を浴びせかけ一擧四點を奪ひ同又二點を與へて大勢を決して終つた△四回田村ライトに退いて小島がプレートに立つたが已に遲く五回に又一點△撫順は戰勝ちと見て七回から岡村をベンチに引揚げさして成松を投手に立てて樂な試合をする△一方奉天軍も今日の試合をすてて明に備へる意か小島を又外野に歸へして田村を立てたが撫順右中間に三ルイ打を連發していやが上にも點を增し、期待を裏切つてスツかり興味の無い試合にして了つたが成松の球筋か奉天に合ふたものか八回に至つて猛打を浴びせかけて總攻擊を爲しへ點を奪つて試合らしくなつた△奉天軍負けてもどうやら面目をつぶさずにすんだ△九回表無死で大橋闘事共三ルイ越へのライナーを打ち乍ら走りすぎて二ルイに刺されたのは惜しい自重したらどんな結果を來したか分らぬ(白浪生)

珍書奇籍
新本ダンピング

新臘文化都市の新京として必要な、工藝、經濟、文學、娛樂の圖書に惠れ右、智識の糧の書籍を、今日より東京出版元聯合特賣の書籍一萬册均一大市を、金泰洋行にて開催再び手に入らざる奇書、珍籍や一般向きの小說、及建築本、發賣禁止改訂本、絕版もの等此際讀書子の文庫、圖書室の充實に……

ラヂオ

二十六日(月)新京
新京後二、三〇　運動競技　州外野球聯盟主催第七回野球大會仕合狀況
新京グラウンドより中繼
講演　新京後三、〇〇　レコード
大連後四、一〇　ニユース　相場
實滿野球戰實況放送
(決勝戰)
大連より中繼
東京後六、〇〇　ニユース
東京中央放送局編輯
新京後六、二〇　演藝又ハ講演
同　後七、〇〇　ニユース
(英語)
同　後七、一〇　ニユース
(露西亞語)
同　後七、二〇　ニユース
(朝鮮語)
同　後七、三〇　ニユース
氣象通報　放送局編輯及プログラム豫告
同　後八、〇〇　時報
新京後八、三〇　演藝
東京中央放送局編輯
新京後八、三一　ニユース

映画だより

新京祝町に營業所を有つ松浦協會映畫部は今度パラマウント映畫と契約し其第一回記念興行として二十六日と二十七日晝夜オールトーキー週間と左の三大映畫を提供する、パラマウント社超特作ウエスタンエレクトリツク式最初の全發聲ナンシーキヤロル主演の日本版「盜まれた天國」同社ハリウツドスタジオ特作全發聲支那の名優梅蘭芳主演「明米遺恨父の名守宮殺盜」ならびに日本最初の本格的オールトーキー水谷八重子主演、大日方傳、林千歲、古川綠波、大辻司郎、汐見洋、松井翠聲等の特別助演德富蘆花原作不如歸を現代化した「浪子」等優秀なものである

幕末異聞

愛慾火箭

（九十四）

作 瀧川駿
畫 村瀨洗舟
（上演上映禁）

跛の喜三（三）

市ヶ谷御門を出て、お濠について左へ廻つて、尾張樣の塀に添つて、竹内坂（合羽坂）を登ると、雜木と肥臭い大根畑の露地へ出る。それを右へ抜けきると加賀屋敷を右に見て眞直に突當る塀が、若州小濱の城主、酒井若狭守下屋敷の塀だ。その塀の右の端のきれた處に廣い原ッぱがある。これが俗に水野ヶ原と稱はれてゐる。水野對馬守樣の馬術の調練場である。――朝は未だ早い。これが武術の旺な時だと、稽古着一枚で威勢よく若侍が馬術の練習をしてゐる時分だが、駒の蹄の音どころか、人ッ子一人見えない。森閑とした靜けさだ。旭日が市ヶ谷露地の雜木林の天ペンに昇つたと言ふのに、まだ人の影がない。雨戸を深く閉した眞夜中だ。

がら〳〵と重い雨戸の車の廻る音がして、尻切絆纏、梵天帯に冷飯草履と言ふ折助風體の男が、眠さうな面をして二人出て來た。お屋敷者らしい。

『どうだい、少しは目が出たか』

『目どころかい、大びけよ。こんな悄氣た話があるものか、まるのおけらだよ』

二人の話の具合では、長屋の中での丁半博奕にすつかりすつたらしい。二人の影が見えなくなつた頃、垣根の間から顏を出した一人のお孤、

『御免なすつて！　へい御免なすッて！』

『だれだア――何だ乞食かア』

馬鹿にしてやがる、と言つた顏つきで、雨戸を開けた兄イ風の男がまた戸を閉めた。

『御免なすつて！』

乞食は性懲りもなく、まだ聲を掛けてゐる。

『畜生、畜生、朝ッぱらから縁喜でもねえ面を出しやがつて』

『へい――』、金子の旦那をお呼出し願ひたいんで、へい身内の者で御座んすが……』

袢纏を着た乞食は、跛と言はず頭と言はず自棄に掻きながら斯う言ふ。その男は郡内の縞であつた。

『何でい？　金子さまを呼び出せ。生意氣言ふねえ。金子さまなら丁度今、居なさらねえよ』

『あの……お留守で？』

『だアよ』

うるさゝうに、兄イ風の三下が吐き出すやうに言ふ。だが郡内の縞は立ち去らうとしない。

『ほんとに居なさらねえので……？』

『居ねえと言つたら、居ねえんだ！　こぎたねえ野郎だな』

氣の早い三下奴――早や拳を振り上げて毆らうとする氣配。

『なんだね、お前さんわしらを毆ると仰しやるんで？……』

さて斯う開き直られると、手は下されず、と言へこの儘引ッ込められない拳の始末。

『う〻〻む』

拳を抱へてきり〳〵舞。

『さあ、毆れるものなら毆つて貰ひやせう。乞食をしてゐて人樣を訪ねたら、毆られなきやならねえ掟が出來たとは知らなかつた。さあ毆つて貰ひやせう……』

この騷ぎを聞きつけて出て來たのが、この長屋の貸元、野々村の安太郎だつた。

信州の山奥から遠江灘まで一氣に鬮つた、天龍川の奔流を、棹一本で押し切つた筏乘り上りの、信州野々村の安太郎。

牛込一圓から市ヶ谷から大久保へかけ縄張りを持つた大親分だつた。兒分の數も三十や四十ぢやない。盃を貰つた連中の内には、戸塚の由吉、鮫町の喜藏、谷町の秀なんて何處へ出してもひけを取らない兒分衆もかなり多かつた。

『お孤さん、どうしなすつたえ？』

『へい、外ぢやござんせんが、金子の旦那にお目に掛りたいのでござんす。と言ふ譯は……』

大潮 月曜 癸亥 友引 執 張宿

●一白の人　諸事動搖の兆あるものなれば愼重を尙ぶ日　丙と未と戌が吉
●二黒の人　油斷なく方策を樹つれば大發展を遂ぐべし　乙と辛と癸が吉
●三碧の人　大業を企てんよりは小成に安んずるが吉し　丙と壬と寅が吉
●四綠の人　人に期待をかければ落膽あり自力にて進め　乙と丙と寅が吉
●五黄の人　進まぬ氣をも勵まして奮闘すれば效果揚る　庚と辛と壬が吉
●六白の人　蟻の一穴より大崩落を生ずるが如き日注意　乙と未と亥が吉
●七赤の人　坂路を下る重き荷車の如し樂な樣にて危險　甲と申と戌が吉
●八白の人　勇奮は大事をも遂ぐ起業開店名弘め皆な吉　卯と酉と壬が吉
●九紫の人　物事に移り氣なくして成就せぬ日本業守れ　巳と丁と癸が吉